

2026 年 10 月 6 日

各 位

会 社 名 フ リ ー ビ ッ ト 株 式 会 社
 (コード番号 3843: 東証プライム市場)
本社所在地 東 京 都 渋谷 区 円 山 町 3 番 6 号
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 柴 田 巧
問 合 せ 先 取締役執行役員グループ経営企画本部長 和田 育子
電 話 番 号 0 3 - 5 4 5 9 - 0 5 2 2 (代 表)
(URL <https://freebit.com/>)

代表取締役の異動及び役員人事に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026 年 10 月 6 日付の代表取締役の異動及び役員人事について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 役職異動の内容

氏名	新役職	現役職
石田宏樹	—	代表取締役CEO兼CTO
柴田 巧	代表取締役社長	取締役副社長
清水 高	取締役	取締役副社長CFO

2. 役職異動の理由

当社は、2025 年 9 月 29 日付で発表しました株式会社CountUp（以下「CU社」といいます。）の株式取得に関連する事項について、当該事項の妥当性および当社の意思決定プロセスの適切性に疑義がある旨の指摘について、独立した外部の専門家で構成する特別調査委員会を設置して調査を進め、2026 年 10 月 1 日付で、調査報告書を受領いたしました。

調査報告書において、当社代表取締役CEO兼CTOであった石田宏樹氏（以下「石田氏」といいます。）自身の職務発明に関する理解不足に加え、利益相反・公私混同に対する規範意識の弱さが本件を招いた最大の要因であると指摘されております。また、創業社長である石田氏に対する付度により、牽制機能が十分に発揮されていなかったことが指摘されております。

石田氏は、特別調査委員会の指摘について反省と陳謝の意を示すとともに、代表取締役を辞任する意向を示したため、当社は、本日開催の取締役会において、石田氏の辞任を受理しました。

また、石田氏は、2026 年 7 月 23 日に開催された当社第 26 回定時株主総会において取締役に選任され、取締役に就任していましたが、石田氏より当社取締役も辞任する旨申し出があり、本日開催の取締役会において、これを受理いたしました。

なお今後は、石田氏本人が直接指揮命令をしていた少数の案件について、石田氏の専門性を特に活かした技術・情報やお客様・取引先との関係・約束事などがあり、石田氏がその役割から突然降りることによってサービス提供先であるお客様に対しご迷惑をおかけすることが懸念されます。そこで、必要最小限の引継ぎを行うため、取締役退任後 1 年間に限り業務委託契約の締結を協議する予定であります。石田氏の業務は、当該サービスに係る主に技術的助言に限定し（統括・指揮・指導は行わない）、意思決定権、予算権限、代表・代理権及び役職員への指揮命令権は有しません。当社グループの施設等は原則として利用不可といたします。委託料の支払いにあたっては、引き継ぎ内容を記した成果物書類と稼働した日・時刻・時間数および内容を記載した業務実績報告書及び請求書を受領することで、実態を伴わない支払いという疑義を招かないようにいたします。

新任代表取締役については、本日、取締役会で決議の上、柴田巧氏が選定され、当社代表取締役に就



任いたしました。

3. 新代表取締役社長の氏名及び略歴等

氏名 (生年月日)		略歴、当社における地位及び担当	所有株式数
しばた たくみ 柴田 巧 (1981年5月30日生)	2005年04月	西日本電信電話㈱(現NTT西日本㈱)入社	6,500株
	2015年08月	Dimension Data plc Communication BU Practice Manager	
	2016年10月	西日本電信電話㈱(現NTT西日本㈱) ビジネスデザイン部担当課長	
	2019年04月	㈱ジャパン・インフラ・ウェイマーク 代表取締役社長	
	2024年07月	当社入社	
	2024年07月	当社執行役員(現任)	
	2024年07月	㈱ギガプライズ取締役	
	2025年06月	㈱ギガプライズ取締役副社長(現任)	
	2025年07月	㈱ドリーム・トレイン・インターネット 代表取締役社長(現任)	
	2025年07月	当社常務取締役	
	2026年07月	当社取締役副社長	

4. 異動年月日

2026年10月6日

5. 今後の対応について

当社は、本日公表いたしました「特別調査委員会の調査報告書の公表及び再発防止策の策定に関するお知らせ」に記載のとおり、調査報告書の指摘及び提言を踏まえた再発防止策を策定いたしました。新たな経営体制の下、その実行と定着に取り組み、経営の透明性と健全性を高め、社会的信頼の回復に全力を尽くしてまいります。

株主・投資家及び関係者の皆様に対して、ご心配とご不安を抱かせるような事態を招いたことにつきまして、深くお詫び申し上げます。

以上